

ピンク系グラジオラス新品種「舞姫」

[要約]

「舞姫」は花色が透明感のある美しいピンク色で、本県の主要な作型に適応でき、次代の主力品種として期待できる。

農業総合センター園芸研究所

成果区分

普及

1. 背景・ねらい

グラジオラスは本県の花き栽培の主要な品目で、切り花生産として作付面積 35ha(平成14年度)で全国第2位、球根生産では全国生産量の65%のシェアにあたる32haの栽培面積で全国第1位である。しかし、産地間競争の激化や、球根の輸入自由化等による流通の国際化に対抗していくため、産地独自の品種を育成することが営利的に必要となってきた。そこで、本県の気象条件や作型に適合し、消費動向にもあった新品種を育成する。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 「舞姫」(図1)は平成2年に「富士の雪」を種子親として、「スピックアンドスパン」を花粉親として交配して得られた系統で、平成14年3月に種苗登録(登録番号第10157号)された。
- 2) 草丈はやや高性で、花穂長は主力品種「トラベラ」より長い。葉長は「富士の雪」および「トラベラ」と同等の長さで、葉数はやや多い。葉幅は「富士の雪」と同様に広い。茎径が「トラベラ」よりやや太く、「富士の雪」よりやや細い。
- 3) 花被色は鮮やかな淡紫ピンク色で、花の中心部が淡黄色である。花被の波打ちは「富士の雪」よりやや弱く、弱～中程度である。花径は「トラベラ」と同様に中大輪である。小花数は18輪前後と多く、同時開花数は「トラベラ」と同程度である。
- 4) 開花期は4月25日定植の露地季咲き栽培で7月22日、到花日数88日で、「トラベラ」および「富士の雪」より早生である。
- 5) 日持ちは「トラベラ」と同等である。
- 6) 季咲き栽培、抑制裁培のいずれの作型においても、草丈は「トラベラ」より10cm前後長く、「トラベラ」より量感のある切り花が生産できる。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 球根の販売者は、県との許諾契約により県グラジオラス球根協会である。

4. 具体的データ



図1 グラジオラス新品種「舞姫」と主力品種

表1 「舞姫」の形態的特性

品種	草丈 (cm)	茎径 (mm)	葉長 (cm)	葉幅 (cm)	葉数	花穂長 (cm)	花径 (cm)	花数	同時 開花数
舞姫	127	13	74	5	11	58	10	18	8
トラベラ	118	10	71	4	10	53	10	17	8
富士の雪	141	15	77	5	10	74	11	20	7

注) 平成8年4月25日定植、露地季咲き栽培。

表2 本県主要作型における主要品種との特性の比較

作型	品種	開花日 (月/日)	到花日数 (日)	草丈 (cm)	花穂長 (cm)	花数	日持ち ³⁾ (日)
露地季咲き 1)	舞姫	7/22	88	127	58	18	10
	トラベラ	7/24	90	118	53	17	10
	富士の雪	7/26	92	141	74	20	—
露地抑制 2)	舞姫	10/19	92	102	45	13	—
	トラベラ	10/25	98	95	44	13	—

注) 1) 平成9年4月25日定植。2) 平成8年7月19日定植。

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

新品種育成普及促進事業・平成2～12年度・花き研究室